

2026年2月吉日  
生活協同組合コープさっぽろ  
広報部

## 北海道の人生 150本を記録 「北海道の生活史」 出版記念展示会を2/2～6で開催

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）は、60周年記念事業のひとつとして「北海道の生活史」の編集制作を北海道新聞社に依頼、2026年1月21日（水）に出版しました。それに伴い、「北海道の生活史展」を北海道庁旧本庁舎にて2月2日（月）～6日（金）に開催いたします。

「北海道の生活史」プロジェクトは、北海道で暮らす人々の人生を記録することを目的に始まった取り組みです。監修は京都大学大学院の岸政彦教授で、『東京の生活史』『大阪の生活史』『沖縄の生活史』に倣った手法を採用しています。北海道新聞社が事務局となり、「聞き手」を一般募集し、選考と抽選を経て150人を決定。聞き取りに先立ち、岸教授による研修会を実施し、原稿作成の過程では相談会も開催されました。「聞き手」による編集、「語り手」による確認・修正を経て、150本の記録作品が完成しました。

つきましては、下記のとおり実施いたしますので、取材のほどよろしくお願ひいたします。

### ■関係者からのコメント

- 岸 政彦教授（京都大学大学院文学研究科教授 社会学者・作家）

この「北海道の生活史」を作るにあたり、150人の聞き手の方に参加していただいた。この本は、どこまで聞き手が受動的になれるかが大切。語り手の話が脱線してもその話を聞く。結果、その中に貴重な話や語り継ぎたいことが聞ける。父に語り手をしてもらい、普段聞けなかった過去の話や考えを聞けて本当に良かった、などの体験をされた方もいたと思う。聞き手の方にとっても、なかなか無い機会だったと思う。ご協力、本当にありがとうございました。

- 大見英明（コープさっぽろ 理事長）

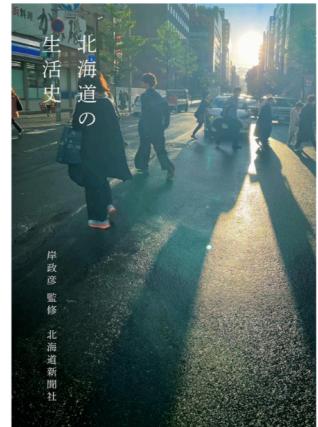
コープさっぽろの60周年記念で何をすべきか検討する際に、すでに刊行されていた岸先生の「東京の生活史」「大阪の生活史」「沖縄の生活史」を知り、是非四冊目として「北海道の生活史」を作りたいと思った。完成されたこの本はまさに北海道の生活をあらゆる角度から知ることができる素晴らしいものになった。岸先生はじめ関わる全ての方に感謝したい。



2月1日に行われた出版記念記者会見の様子

## ■ 「北海道の生活史」概要

- 発売日：2026年1月21日（水）予定
- 値段：定価 4,950円（税込）
- 仕様：A5判、1280頁
- 公式ホームページ  
<https://kk.hokkaido-np.co.jp/book/special/hokkaido-project/>



## ■ 「北海道の生活史展」概要

- 開催期間：2月2日(月)～6日(金)
- 場所：北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）赤れんがホールA・B



「北海道の生活史展」は2月6日まで北海道庁旧本庁舎で開催中

## ■ 岸政彦（きしまさひこ）教授 プロフィール

1967年生まれ。社会学者・作家。京都大学大学院文学研究科教授。

専門は沖縄・生活史・社会調査方法論。

主な著作に

『同化と他者化——戦後沖縄の本土就職者たち』（ナカニシヤ出版 2013）

『街の人生』（勁草書房 2014）

『断片的なものの社会学』（朝日出版社 2015）

『質的社会調査の方法——他者の合理性の理解社会学』

（石岡丈昇・丸山里美と共に著 有斐閣 2016）

『地元を生きる——沖縄的共同性の社会学』

（打越正行・上原健・上間陽子と共に著 ナカニシヤ出版 2020）

『東京の生活史』（編著 筑摩書房 2021 紀伊國屋じんぶん大賞 2022 第76回 毎日出版文化賞）

『沖縄の生活史』（石原昌家と監修 沖縄タイムス社編 みすず書房 2023）

『大阪の生活史』（編著 筑摩書房 2023）

『調査する人生』（岩波書店 2024）

『生活史の方法——人生を聞いて書く』（筑摩書房 2025）など。



## 【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 広報メディアグループ 森ゆかり・前田楓華

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516 (平日9時～18時)